

Vol.112

院長 関の

Face to Face

2017年 10月 1日発行



大抵の方はステロイドという薬をご存知だと思いがすが、1950年にステロイドを開発した研究者達がノーベル賞を取ったことを知っている人は少ないと思います。賞を取る二年ほど前に、リウマチで苦しむ寝たきりの患者さんにステロイドホルモンを内服投与したところ、翌朝にはベッドの横でダンスを踊っていた：この逸話がニューヨークタ

「奇跡の薬・ステロイド」



イムス新聞に掲載され「奇跡の薬」と賞賛されました。しかし、まだ不十分なところもあり、多くの副作用が出現しました。主なものとしては、糖尿病・胃潰瘍・十二指腸潰瘍・全身の浮腫・骨粗しょう症などです。せっかく主訴が治っても、副作用に悩まされる結果になつてしまったのです。重い副作用で利用されなくなつた時期もあつたようですが、

その後副作用を最小限に抑える為の多くの研究が繰り返され、現在のようにな様な疾患に対し、使用されるようになりました。しかし副作用がほとんどなくなつたとまではいえず、今でも効果的に使うにはベテランの医師の「さじ加減」がとても大切なのだそうです。例えば虫刺されに使う「ムヒ」のようなごく一般的な市販の薬にも種類によってはステロイドが配合されていることもありますので、皆さんも注意を払って薬や医師を選ぶようにしてください。

関 修一（せきしゅういち）

健育会 東銀座整骨院・整体院・
鍼灸院 院長

代替医療の総合治療院としての確立を目指す。タイトルの「Face to Face」は「患者さん自身と向き合って患者さんの症状と闘う」とを願ってつけた

毎月一日の発行です